

五竜岳・唐松岳

2019. 8. 23(金)～8. 26(月) 大塩 富美夫

△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△△

○五竜岳・唐松岳 8/24

・五竜とおみテリキャビン(7:30)→アルプス平(7:45)…地蔵ノ頭…小遠見山(9:44) …大遠見山(11:10) …西遠見山(12:00)…五竜山荘(14:00)(泊)

○ テリキャビンに乗り一気にアルプス平まで、上がり。風通しのない遠見尾根を、ひたすら登る。地蔵ノ頭から、急坂を登り、小遠見山に着く。八方尾根方面の遠景が望める。中遠見山・大遠見山から、灌木の稜線・小さな池を過ぎて、ダテナハ林を登ると、西遠見山に着く。西遠見山から、鎖のある急坂が続く。尾根を進み、白岳を左に巻いて、五竜山荘に到着する。

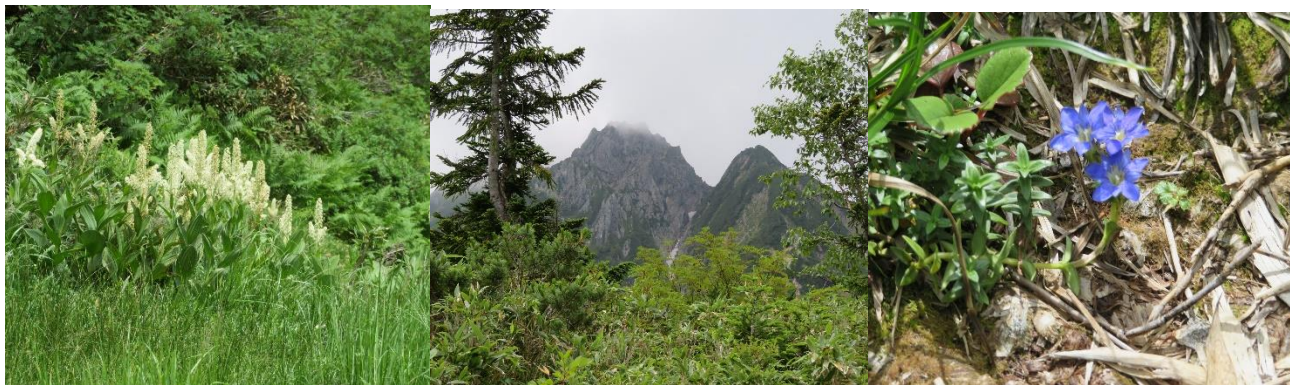
夕方と朝方、山荘の下に熊が出没!



五竜テリキャビン

地蔵ノ頭

大黒岳・唐松岳方面



コハイツク

五竜岳遠景

タヤマリントウ

○五竜岳・唐松岳 8/25

・五竜山荘(6:15) …五竜岳(7:35)(2814m/100名山)…五竜山荘(9:25)(10:50) …大黒岳…唐松岳頂上山荘(12:16) …唐松岳(13:20)(2696m/300名山)…唐松岳頂上山荘(13:50)(泊)

○ 早朝、予定より少し早立ちする。五竜山荘から、直ぐに300m程の岩稜を登る。鎖場を越えて、山頂に到着する。今回は、五竜岳で100名山が完登なので、「用意して来た垂れ幕」を出して、写真を撮る。山荘へ戻る下りの岩場で、2羽の雷鳥と出会う。

五竜山荘で、身支度をして唐松岳へ、出発する。白岳から、鞍部を越えて、ハイマツ・岩稜を抜ける。最難関の牛首の岩稜に入る。片側は、谷底で氷満点です。ツルギを頼りに進む。唐松岳頂上山荘に到着し、遅い昼飯を済ませ、空荷で、唐松岳を往復する。山頂の遠望は、薄霧の為あまり良くない。明日に期待する。

夕方、山荘の下に熊が出没! 良く、出ますね!



遠景



五竜岳山頂



遠景



雷鳥(顔が、横向きです)



唐松岳山頂



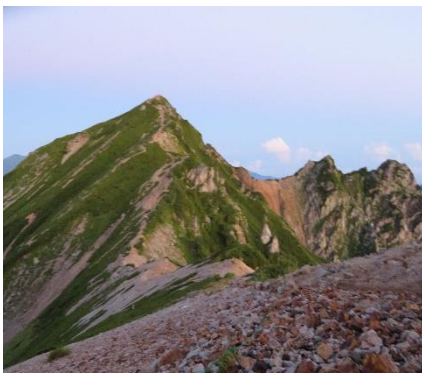
不帰の嶮方面の遠

○五竜岳・唐松岳 8/26

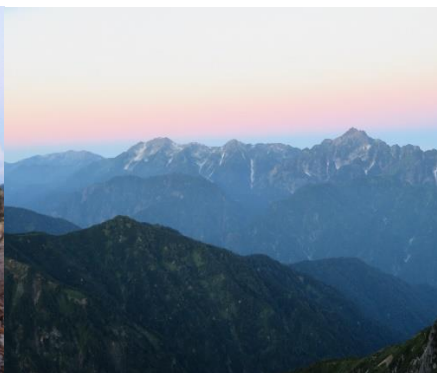
・唐松岳頂上山荘(4:30) …展望地(4:55)…丸山ケル…八方池(7:10)…第三ケル…第二ケル…八方池山荘(7:45) →(リフト・ゴンドラ)→山麓駅(9:00) = 大町温泉<入浴> = 帰阪

○ 早朝、頂上山荘から東の展望地へ向かう。既に、沢山の人が、来ている。今日は、きっと晴れて良い天気で、展望が期待できそうだ！ 周囲の遠景を撮影していると、雲海の端が橙色に輝いています。御来光の始まりです。御来光を撮影後、八方尾根を八方池まで、下山する。途中、五竜岳の背後に鹿島槍ヶ岳北峰・南峰が、見えて来る。

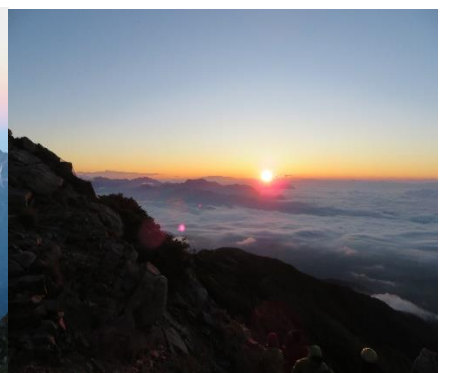
八方池の水面は、風がなく、晴天なので鏡の様に写っています。早速、「八方池に映る白馬三山と不帰の嶮」を撮影する。八方池から、第三ケルを経て第二ケルで休憩し、木道を八方池山荘まで、下る。八方池山荘から、リフト・ゴンドラを乗り継いで、一気に山麓駅まで、下山する。大町温泉で汗を流し、一路帰途に着く。



大黒岳・白岳方面



立山・劔岳方面



御来光



五竜岳背後に鹿島槍ヶ岳



八方池に映る白馬三山・不帰の嶮



ハクサンシャジン



ケルン



ケルン



八方ゴンドラ駅(うさぎ平)

牛首の岩稜は、スル満点で。八方池に映る白馬三山と不帰の嶮が、印象的でした。
今回五竜岳が、100名山目となりました。皆様のお陰で、何とか、百名山を達成する事が出来ました。
天候も恵まれ、良い山行でした。又、山に行きましょう。